

○本校のミッション（使命、存在意義）

- 大規模校、知肢併置という環境の中で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習活動及び適切な支援を行うことにより、将来の社会生活・職業生活につながる児童生徒を育成する。
- 西日本豪雨からの復興を果たし、地域に貢献する学校であると共に、県南西部の特別支援教育のセンター的役割を果たす。
- 地域や各関係機関と連携し、コミュニティスクールとして社会に開かれた学校を目指す。

○学校内外の環境分析

【学校内】

- 開校9年目の最新の施設・設備の学校である。
- H30年7月の西日本豪雨により、4校地に分かれての教育活動を展開していたこと、更にコロナ禍で全校での学習活動や行事に取り組むことができなかつたことから、全体の組織力を活かした教育活動を充実する必要がある。
- 知的障害部門と肢体不自由部門の小学部から高等部までが設置されているため、多様な教育機能を有しており、個に応じた柔軟な教育課程を組織的に組むことができる。
- 本年度の児童生徒数は322名であり、学習環境、障害の種類・程度等から柔軟で多様な指導・支援を工夫する必要がある。

【学校外】

- 学区が4市1町にまたがり、各々の地域の関係機関との連携を重視しているが、さらなる連携の必要がある。就労及び福祉サービス利用に向け企業や事業所等の開拓を進めているが、高等部の生徒数を考えると今以上に組織的動きが必要である。
- 通学区域内には障害者雇用事業所や福祉関係各事業所が多くあり、活発な事業展開をしている様子が見える。真備船穂商工会も生徒の就労に協力的である。
- 学校が位置する真備町は、倉敷市や総社市のベッドタウンとして発展してきた。西日本豪雨からの復興後、人口は元に戻り、店舗も営業再開した。そのため、地域の社会的資源を活用した社会的資源を活用した学習も実施可能となっているが、コロナ禍により実施方法の工夫が必要である。
- 学校周辺地域は、本校のみならず幼小中高全ての教育活動に理解があり、地域として多大な協力をいただける環境である。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン

①『夢育』（校訓「夢へ みんなで まっすぐに」）の実現

個々のニーズに応じた教育・支援を行う中で、児童生徒が夢を見つけ、夢を育み、夢に挑戦する『夢育』を実践するために、一貫性・系統性のある学習活動を展開する。

②医療、福祉、教育、労働等との協力・連携

卒業後の「社会生活・職業生活」に向け、地域での豊かな生活につながるよう、小学部段階から卒業後の生活を見据えて、医療や福祉、労働等と連携した支援体制を整える。

③地域との連携・地域への貢献

社会に開かれた教育課程を実現し、地域の社会的資源を生かした学習活動や就業体験などの教育活動を進めながら、通常の授業を充実させることで、地域の活性化が図れるようにする。

コミュニティスクールとして、地域のコミュニティの担い手となる児童生徒の育成を目指す。

④学校の組織力と教員の知識及び指導力の向上

①から③を支える上で、最も重要な学校の組織力と教員の指導力（児童生徒支援・授業力）の向上を図る。

○当該年度の具体的な学校経営目標

○教育活動の充実

- ・指導と評価の一体化を目指した授業づくり
- ・学部間の系統性や一貫性、部門間の乗り入れを意識した指導・支援（カリキュラム・マネジメントの充実）

○地域との連携と地域への貢献

- ・学校・家庭・地域が協働するコミュニティスクールの実現
- ・開かれた学校づくりのための地域資源を活用した教育活動

○各関係機関との連携強化

- ・地域や企業等との密接な連携による作業学習の充実
- ・個に応じた支援体制と進路指導の充実

○安全安心な学校生活の充実

- ・人権尊重の教育の徹底（あいさつと返事・和顔愛語・受容と共感）
- ・危機管理意識の向上（災害や事故防止・医療的ケア・食物アレルギー・スクールバスや自力通学の安全等）

○学校運営組織の活性化

- ・働き方改革の充実（一人1アイデア）と傍楽方改革の推進
- ・一人一役（全員活躍によるチーム学校）

